

特別講演会

笠松泰洋先生

文化交流使帰国報告会



講師：笠松泰洋先生

(音楽家)

(ところざわ倶楽部 特別会員)

〈文化交流使とは〉

文化庁では、芸術家、文化人等、文化に関わる方々を「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、外国の文化人とのネットワークの形成・強化に繋がる活動を展開しています。これまで、延べ122人と26組(団体)を79カ国以上へ派遣しています。

笠松先生は、平成30年度の文化交流使4名のうちの一人として選出されました。滞在国、場所、活動内容は基本的に本人任せで、活動費という予算の中で、かなり自由な活動ができる、政府系の文化交流事業としては、珍しいタイプの事業です。

笠松先生は、エクアドル、アルゼンチン、チリ、ペルー、イギリス、オーストリアに滞在し、各国の音楽家と笠松作品のコンサートをするという企画を立てました。今回の報告会では、南米各国の違い、西洋音楽をすることの各国での立場の違い、そして音楽そのものについて考えたことなどを、リアルな体験としてお話していただきます。



日時：6月14日(金) 14:00~16:00

(受付：13:30~)

会場：中央公民館 3F 8・9号室

(所沢市元町27-5)

主催：ところざわ倶楽部

問合せ先：広報部 玉上佳彦 090-2497-1076

方山みどり 070-5367-1086